



しまね学習支援プログラム「地域魅力化プログラム」を活用したみなさんの様子をお伝えします。

「子どもが主役となる活動を！ ～参加型学習の手法を用いて～」

川本町立川本中学校

教諭 石田 卓也 さん



川本町立川本中学校に教諭として勤務する石田さん。令和6年度に教職員フォローアップ研修（2年目）として、「ファシリテーター養成講座」を受講されました。今回は、「ファシリテーター養成講座」での学びを活かして取り組まれた学級活動での学級目標づくりの様子を紹介します。

■ファシリテーター養成講座を受講して…！

「子どもたちが考えを伝え合う」「合意形成を図り、自ら動き出す」といった子どもたちが主役となり、主体的に行動する姿をめざしてファシリテーター養成講座の受講を決意しました。また、教職員フォローアップ研修（2年目）の選択研修の1つになっていたこと、普段関わりが多くない多様な業種の方と共に学ぶことができることも受講のきっかけとなりました。研修では、「参加者同士が交流しながら共に活動することで自らの気づきや変容を促す」といった参加型学習のよさやその様々な手法と特徴について知ることができました。また、学習プログラムを作成し、実際にファシリテートを経験をしたことで、「考えを肯定的に受けとめる」「フォロー役として支える」など、姿勢や関わり方についても考えるきっかけになりました。

■生徒もファシリテーターの一人！？自分たちでつくる学級目標！

「自分たちの考えをもとに話し合い、学級目標をつくることで、自分たちの学級をよりよくしていこうという意識をもって欲しい！」という願いのもと学級活動で学級目標づくりに取り組みました。まず、ラベルワークの手法を用いて「よいクラスとはどんなクラスか」という問いについて、一人ひとりが考えを付箋に書き出し、それをホワイトボードにはりながらグループで共有をしました。次に、出た考えについて「行動」「学習」「想い」などのテーマごとに分類しました。その後、各グループのホワイトボードを黒板にはり、全員で話し合う時間をもちました。



グループでラベルワーク



子どもたちがファシリテート！

黒板に各グループのホワイトボードをはると、自然と子どもたちが黒板の前に立ち、「大切にしたい考えや言葉はありますか？」「よいクラスにするために何が必要だと思いますか？」などと問いかけながら子どもたちのファシリテートによって話し合いが進んでいきました。最終的に、「今日より明日、明日より明後日！笑っていこう！」という学級目標に決定しました。

■ファシリテーターの姿勢を大切に子どもたちと学び続けたい！

今回の実践において工夫したことが2つあります。1つ目は、ラベルワークの手法を取り入れたことです。付箋に書いて共有するので、自分の意見をもって話し合いに参加でき、書いた内容が付箋に残るので考えを深めたりまとめたりすることに役立ちました。2つ目は、考えを肯定的に受けとめる声かけや話し合いを促す声かけをしたことです。これらの工夫をしたことで、全体で話し合う場面において、自然と子どもたちが前に立ち、ファシリテートする姿につながりました。結果として、話し合いの進行を子どもたちに委ねました。上記のことを意識して取り組んだことで、「学級目標を意識するための掲示物を作成する姿」「学級目標をふり返り、よりよくしようとして行動する姿」など、授業後の姿からも子どもたちが主役となって学級目標を決めた、その過程に価値を感じると同時に大きな喜びを感じました。今後もファシリテーターとしての姿勢を大切に、子どもたちが主役になる場面を創っていきたいと思います。



学級目標の掲示物作成